

# Teens Joy

お勧め図書リスト「ティーンズ・ジョイ」



NO. 6 2011. 7

清瀬市立図書館

地震 停電 放射能  
みんなで生き抜く防災術

小学館防災チーム／編  
小学館



東日本大震災は、地震だけでなく、津波や液状化現象、停電、放射能汚染など、様々な被害をもたらしました。

3月11日の震災から学んだ「必要な物」や「心構え」は何だったのか。この「物」と「心」に視点をおき、「どうする？猛暑の大節電」「災害用伝言板の使い方がわからない！」「放射能漏れ、何がどう怖いのか？」などの内容を、Q&A方式でわかりやすく紹介しています。

いざという時に備え、ぜひ読んでおきたい1冊です。

<駅前図書館 余座>

「10か月分のお小遣いを募金箱に入れた小学生」

「避難所で活躍している被災地の高校生の姿」

「背中に2人、両腕に1人ずつ計4人を抱えながら救助活動を行う自衛官」

「泣いてなんかいられない。と言って炊き出しをする被災地のおばあさん」

震災後、インターネット上に自然発生的に寄せられた多くの応援メッセージが紹介されています。

わたしたちの心も、ちょっと温かく、元気にしてくれるエピソードでいっぱいです。

<中央図書館 横山>

YELL!  
東日本大震災チャリティーブック

アスコム／編  
アスコム



2011年3月11日に起こった東日本大震災。災害はいつ、どこで起きるか分かりません。部活の最中だったり、下校途中、友だちと外出中、家に一人でいるときかもしれない、頭の中で考えただけでは、とっさに行動できないものです。

「そのとき」にどう行動するのが最善か、自分で考えて行動できるようになるためには、その前から準備することが大切になります。

中学生の考えで、災害を防ぐ「防災」災害を減らせる「減災」について知ることができます。

<野塩図書館 長谷川>

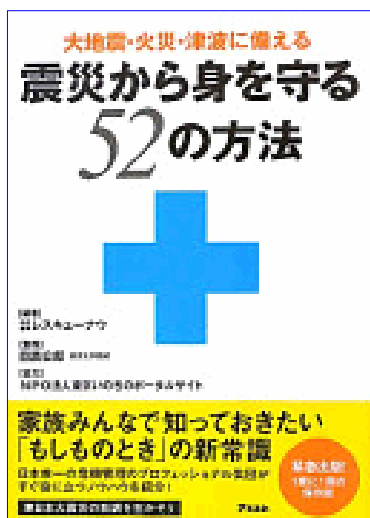
これからの防災・  
減災がわかる本

河田 惠昭／著  
岩波書店



震災から身を守る52の方法

レスキューナウ／編  
アスコム



家が倒壊したら、せっかく準備した水や食料を取り出すことができません。どうすればいいですか？電車やバスが止まっています。「歩いてまで」帰る必要があるのでしょうか？揺れているのに、すぐ火を消さないといけないですか？避難所はどこなのか知っていますか？家族がバラバラの場所にいたら、どうやって連絡を取り合いますか？

災害に先回りして、家族全員で、どんな準備をしておけば被害を少しでも減らすことができるか、自分に必要な防災とは何か、を学ぶことができる本です。

<中央図書館 吉高>

3月11日に発生した東日本大震災により、多くの尊い命が失われ、3ヶ月を過ぎた今でも避難所での生活を送っている方々がいらっしゃいます。

東日本大震災について、新聞・テレビ・雑誌で様々な情報が伝えられてきましたが、皆さんはどんな事を考えられたでしょうか。

ボランティア活動や防災に関する意識が芽生えた方、これからの生き方を真剣に考えた方もいらっしゃるかもしれません。

今回は震災から身を守るための本や、震災後の心あたたまるエピソードが詰まった本を紹介します。

科学的に、また冷静に世界を、そして社会を見るための手助けとして、いろいろな本を読んでいただければと思います。

中央図書館	梅園1-1-21	493-4326
元町こども図書館	元町1-6-6	495-8666
下宿図書館	下宿2-524-1	495-5432
野塩図書館	野塩1-322-2	493-4086
竹丘図書館	竹丘1-11-1	495-1555
駅前図書館	元町1-4-5	492-8751

図書館HP <https://www.library.kiyose.tokyo.jp>

携帯電話 <https://www.library.kiyose.tokyo.jp/i/ihome.html>